

のぼのばかわら版

きれいな手
つかいきりグローブ

シヨウワの使い切り手袋です。ビックリしました。ポリエチレン性と聞くと大きくてガサガサとしたイメージですが全然違います！

ラバーみたいに伸びてフィットします。(本当に試してください) コレは使いやすい！

すぐに思い出したのは、昔よく行った中国の飲食店です。

その店の名物は、とんでもない大きさの骨付き肉の塊なのですがあまりにも大きいので、食べる時にポリエチの手袋を使います。

コレこそ真正銘の【肉】って感じの肉をザラザラ・ゴワゴワとした手袋で掴むのです。

ベトベトした肉の塊をベチャッと落としてしまい、お皿の上の汁がはねてしまう、、、

「あの時に、このシヨウワの手袋があったらさぞかし楽しく食事が出来ただろう」です。

とにかくパッケージも工夫されていますし、お取り扱いをご検討ください。(チラシ参照)

それと、思ったのがもう一つ。「きれいな手」に商標を取っている事です。

モノづくりをする時に「商標」はとても大切です。

「でも何で、この言葉を？」
昔と違い今は便利ですからすぐ調べる事が出来ます。

「きれいな海」「きれいな気分」「きれいな生活」「きれいなおねえさん」

個人的には一番最後のが好きですが、権利者はパナソニック。「きれいなおねえさんは好きですか」

そう言えばそんなコマースシャルあったなあ。

調べてみると「きれいな、、、」
というのは「伊藤園」「小林製薬」「大王製紙」、、、、名だたる会社が申請取得しています。

日本は「商標」は先に取得した者勝ちですから、後でマージンを請求されたり、高額で買い取らなければならなかったり。

せっかくヒット商品になった後に難癖つけられたらたまったものではありません。

自分の回りでも、そういった事が起きた事が何度もあります。

なかには、この言葉はずっと前から、普通に使っていたでしょ。

発行者 (株)のほのほ
〒246-0001 仕事を楽しくする作業用品の企画販売会社
神奈川県横浜市瀬谷区御本町9279-37
TEL 045-921-3561 FAX 045-921-5337
<http://www.yetian.com/>
毎月20日発行 第380号

というのが他の会社の商標権に引掛かり、罰金みたいなモノを払ったり、その名前を使った商品を全て廃盤にしなければならなくなったり、、、
それは会社にとっては大問題に発展する事もあるでしょう。

もつと言えば、多くの人がよく使う、使いやすい、ありがたいな、そんな言葉の商標権を持っているのはすごい事です。

特許などに比べると、何となく弱つちい感じのする商標ですが、知的財産の中では、コストパフォーマンスは高いし、永遠ですから実は強いヤツですね。

気になったので「きたない」を調べたら関連の商標は一つもありませんでした。
「いないのか！」
「クソッ」と汚い言葉を思い浮かべてしまったのでした。

働くのばちゃん Vol. 380

アシックス担当の山本です 9月発売新色を3つと、今年上半年売上ランキングのチラシを同封しました(足数)参考にして下さい サイズ比率は面白いかもです

CP307 401
ミッドナイトx
ピュアゴールド



CP302 300
シラントロx
ブライトイエロー



CP301 600
クラシックレッドx
ピエドモントグレー



知的財産権の話、前にも書いた気がしますが、今までもコレからも一番大切な事だと思えます。マネ出来るモノ、マネされやすモノ、マネしてもいいモノ、コレらは全て価格競争になります。

消極的なセールス

先日「のぼお」はパソコン専門店に行きました。

「ノートパソコンを斜めにするヤツ」を買に行ったのです。

「斜めにするヤツ」はキーボードも打ちやすいし、軽く小さいので持ち運ぶノートパソコンには便利だそうです。

さて、コレだけネットの時代だと言っても「のぼお」は大体リアル店舗で買い物します。

実物を見たり触ってみたいからです。

それに大体、この店が好きです。グイグイと売ろうとする姿勢がなく、ゆっくりと買いたい物が出るからです。お店自体が静かです。

リーモート作業を少しずつ増やす方向の当社は、ノートパソコンを持っている従業員が増え、そのほとんどが知らぬ間に「斜めにするヤツ」を使っていました。

くそう！
自分だけ時代遅れはダメだ！
と、いう訳でその店に行ったのです。

「いらっしやいませ、何かお探しですか？」女の人でした。

「はい、ノートパソコンを「斜めにするヤツ」が欲しいんですけど」

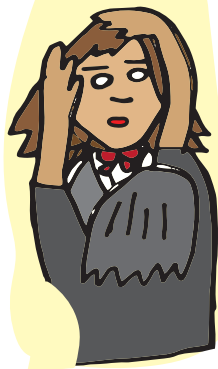
「はい、、、」
「あのお、ノートパソコンの裏に三角みみたいなヤツを付けると打ちやすいみたいで、この辺りに付けるみたいなの」と、パソコンを見せました。

「はい、、、」
「あのお、それを見に来たんです」

「そうですか、、、」
「え？」女性は動きません。

「コレもしかして人形なのかな？」
それとも、何をしに来たのかをただ知りたかったのかな、、、

これ人形かな？



「それでコレはどこにあるんですか？」

「そちらは周辺機器ですので二階ですね」

いつもなら案内してくれるのに、二階に行くと、広いスペースに店員さんは一人だけでした。

その店員さんはブルートウースのスピーカーの事でお客様と静かに話が盛り上がっています。

「斜めのヤツ」が見当たらないので店員さんに聞きたいですが更に盛り上がっていて聞きにくいです。しょうがないので一階に戻り、

先程の女性に言いました。

「場所がわからないんですが、、、」

「二階の店員に聞いてください」

「他のお客様と話していて、声をかけづらいので一緒に来てもらえませんか？」

渋谷二階に上がった女性もどこにあるのか分かりません。

盛り上がっている、二階の店員さんに聞こうとしますが、やはり話かけづらいようで（消極的です）

「あちらの話が終わったら話かけてもらっていいですか？」

おいおい、はっ！
胸に「研修生」のバッジが付いていたのです。そういう事か！

でも、マイクも付いています。

「それってマイクですよ、それ

で他の人に聞いたり呼んだり出来るんじゃないですか？」

それマイクじゃないの？カナブンか？



何故か、間が空いてから女性は誰かを呼びました。（消極的）
一階から男の人がやって来ました。

男の人は「何をお探しですか？」

「えっ、それ伝えてないの？」

男の人は、あちこち探しながら「どこだろうなあ」とかなんとか言っています！

そして驚きの事実が発覚したのです。

その男の人の胸にも「研修生」のバッジが、、、

「マズい、このまま人を呼び続けると二階が研修生でいっぱいになってしまう、、、」

このお店はいつも「当店では、お客様にゆっくりとお買い物して頂くためにスタッフからの積極的なお声掛けはしておりません、、、」とか放送されています。

「なるほど、、、積極的ではない」

消極的は研修生でOKなのか！

「ウチの営業はどうなんだろう？まさか研修生のバッジなど付けてないだろうな？」

まさかウチのみんなも消極的なのかな

「のぼお」は、

消極的な考えになっちゃったのです。



接客、営業、ともに難しいですね 「売るぞ、売るぞ」の分かる、しつこい感じだと嫌だし
かと言って、話をしたいのに（聞きたい事があるのに）声をかけてくれないのも嫌です、、、